

令和6年度

認定看護管理者教育課程

セカンドレベル

募集要項



公益社団法人 岐阜県看護協会

目次

I 教育課程の概要.....	1
1 教育機関の概要.....	1
2 教育理念.....	1
3 教育目的.....	1
4 到達目標.....	1
5 教科目と時間数.....	1
6 開催日数・期間.....	1
7 教育課程の修了.....	1
8 教科目の単元と教育内容.....	2
9 定員.....	3
10 受講料.....	3
11 受講要件.....	3
II 応募方法.....	3
III 選考方法.....	4
1 一次審査（書類審査）.....	4
2 二次審査（小論文審査）.....	4
3 選考結果.....	4
4 問合せ先.....	4
研修申込書の記載方法.....	5
【提出書類 A】.....	6
（様式 1）.....	7
（様式 2）.....	8

I 教育課程の概要

1 教育機関の概要

公益社団法人岐阜県看護協会は、1993年度に認定看護管理者教育課程ファーストレベル、2006年度に認定看護管理者教育課程セカンドレベルを開講した。県看護協会として、自律的な学びを支援する学習環境を整え、県内の看護職員の資質向上を図っている。

2023年10月末時点で認定看護管理者教育課程ファーストレベル2,193人、同セカンドレベル302人が修了している。また、他県において、サードレベルを修了し認定看護管理者の認定を得た者は65人で、ネットワークを活かして施設内・外において管理者として活躍している。

2 教育理念

看護管理業務に問題意識をもつ看護職の研修の場として、自律自発的に研鑽し合える教育体制を準備するとともに看護管理の講義をとおして、現場に適応し得る新しい看護管理を学ぶ。

また、ネットワークをつくりさらなる発展に向けて挑戦し続ける看護管理の人材育成をめざす。

3 教育目的

看護管理者として基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

4 到達目標

- 1) 組織の理念と看護部門の理念の整合性を図りながら担当部署の目標を設定し、達成に向けた看護管理過程を展開できる。
- 2) 保健・医療・福祉サービスを提供するための質管理ができる。

5 教科目と時間数

- 1) 5教科目 合計 182時間
- 2) 内訳
ヘルスケアシステム論Ⅱ(15)／組織管理論Ⅱ(30)／人材管理Ⅱ(45)／
資源管理Ⅱ(17)／質管理Ⅱ(30)／統合演習(実習を含む)Ⅱ(45)

6 開催日数・期間

- 1) 開催日数 35日間
- 2) 開催期間 令和6年9月6日(金)～令和6年12月10日(月) 4か月間 分散型
(土曜日・日曜日の開催あり)

7 教育課程の修了

- 1) 修了要件
 - ① 出席時間数 出席時間数が教科目ごとの規定時間数の5分の4以上であること
 - ② 教科目レポート 1教科目1課題のレポートすべてにおいて「C」以上の評価を得ること
A:80点以上、B:70～79点、C:60～69点、D:60点未満
- 2) 修了審査
教育課程の修了要件に基づき認定看護管理者教育委員会で審査し、その結果をもって教育課程の修了とする。

8 教科目の単元と教育内容

総時間数：182 時間

教科目	単元	単元の内容	時間
ヘルスケアシステム論 II	社会保障制度の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 日本における社会保障 人口構造、疾病構造の変化 社会保障費の(財源)構造と推移 	15
	保健医療福祉サービスの現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 保健医療福祉サービスの提供内容の実際 病院、看護小規模多機能型居宅介護、訪問看護ステーション等 	
	ヘルスケアサービスにおける多職種連携	<ul style="list-style-type: none"> 多職種によるチームケア提供の実際と課題 	
組織管理論 II	組織マネジメントの実際	<ul style="list-style-type: none"> 組織分析 組織の変革 組織の意思決定 	30
	看護管理における倫理	<ul style="list-style-type: none"> 看護管理における倫理的課題 看護管理における倫理的意思決定 	
人材管理 II	人事・労務管理	<ul style="list-style-type: none"> 人員配置 ワークライフバランスの推進 ストレスマネジメント 労働災害とその対策 労務管理に関する今日的課題 	45
	多職種チームのマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> 人的資源の活用 リーダーシップの実際 コンフリクトマネジメント 看護補助者の育成 	
	人材を育てるマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> キャリア開発支援 人材育成計画 	
資源管理 II	経営資源と管理の実際	<ul style="list-style-type: none"> 医業収支 経営指標の活用 費用対効果 適切な療養環境の整備 	17
	看護管理における情報管理	<ul style="list-style-type: none"> 看護の評価・改善のための情報活用 	
質管理 II	看護サービスの質保証	<ul style="list-style-type: none"> クオリティマネジメント 医療・看護におけるクオリティマネジメント 	30
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> 安全管理の実際 法令遵守 安全管理教育 災害対策 	
統合演習 II	演習	<ul style="list-style-type: none"> 自部署の組織分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する。 	45
	実習	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携を理解するための他施設実習を行う。(実習施設は、受講者自身の所属種別以外の施設とする) 	

9 定員 40名

10 受講料

会員 : 219,000円 非会員 : 328,500円

11 受講要件

以下の受講要件をいずれも満たしている者

- 1 日本国の看護師免許を有する者
- 2 看護師免許取得後、実務経験が5年以上ある者
- 3 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者

または、看護部長相当の職位にある者、もしくは副看護部長相当の職位に1年以上就いている者

※副看護部長相当の職位とは、保健医療福祉に関連した組織において、看護管理を行う立場を指す。

※セカンドレベルでは小論文のサブテーマをもとに演習を行います。

また、1年後、フォローアップ研修において、全員が、看護管理実践報告を行います。

受講申し込み時の部署から勤務異動等ないようご配慮をお願いいたします。

II 応募方法

研修名	セカンドレベル
応募期間	令和6年6月7日(金)～6月17日(月)
提出書類	提出書類 当協会ホームページより、マナブルにログインしダウンロード 提出書類A 様式1、様式2、ファーストレベル修了証のコピー 1 研修申込書(提出書類A) P6 参照 研修申込書の記載方法を参照(P 5)し、記入してください。 2 勤務証明書(様式1) 現施設での勤務経験が5年に満たない場合は、通算して5年になるように他施設での実務経験の証明が必要です。 3 小論文(様式2) 課題「看護管理者として取り組むべき自部署の課題」サブテーマをつけてください。 1,000字以上1,200字以内 (A4版用紙1枚 パソコン使用) * 提出書類は、当協会ホームページよりダウンロードが可能です。 4 ファーストレベル修了証のコピー
応募方法	・看護協会ホームページ、マナブルから研修申込をして下さい。 ・マナブルから必要書類をダウンロードし、提出書類一式を郵送してください。 1 角形2号(提出書類を折らずに入る封筒)に入れ、応募課程名・応募者氏名を明記の上、郵送してください。 2 書類に不備がある場合は、受理しません。 3 令和6年6月17日(月) 17:00 必着です。 4 受理した応募書類は返還いたしません。
送付先	〒500-8384 岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県民ふれあい会館第1棟5階 公益社団法人岐阜県看護協会 看護教育課 認定看護管理者教育担当 TEL 058-277-1009 Fax 058-275-5300

Ⅲ 選考方法

1 一次審査（書類審査）

- 1) 提出書類にて、受講要件および提出書類の不備の有無を審査する。
- 2) 受講要件を満たしていない者、提出書類が不備な場合は、選考の対象から除く。

2 二次審査（小論文審査）

小論文を、以下の評価基準で採点し、小論文の点数の上位の者より選考する。

<小論文の評価基準>

項目	評価の視点
課題の理解	1 論点が課題(テーマ)に対応している。
思考力	1 問題意識をもって批判的に考えられている。 2 専門用語や理論・概念の解釈が適切である。 3 理論や概念を用いて事実を分析している。 4 事実や経験が概念化されている。 5 さまざまな角度から考察をし、自らの主張が述べられている。 6 先見性をもって変化への対応を考えている。 7 今後の課題が主体的に述べられている。
論述能力	1 論旨が一貫している。 2 論理的に構成されている。 3 適切な言葉・表現を用いている。 4 誤字・脱字など表記に誤りがない。 5 指定された文字数で記載している。 6 引用、参考文献の記載がある。

3 選考結果

令和6年7月下旬までに、本人に通知予定

4 問合せ先

公益社団法人岐阜県看護協会

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南5丁目14番53号 岐阜県県民ふれあい会館第1棟5階

看護教育課 認定看護管理者教育担当

TEL 058-277-1009 fax 058-275-5300

E-mail:kyouiku@gifu-kango.or.jp

研修申込書の記載方法

受講申込書をダウンロードしてすべての項目について入力してください。

手書きの場合は、黒ボールペンを使用して、楷書で正確に、数字は明確に記入してください。

1 課程名

受講を希望する課程の■を確認してください。

2 氏名・実務経験年数

氏名は、「修了証書」作成時に必要となります。正確に記入してください。

3 所属組織(施設)

令和6年6月1日現在で記入してください。

4 職位、所属部署

令和6年6月1日現在で、記載してください。

5 その他

1) 書類審査の対象となりますので、記載漏れのないように記入してください。

2) 記載についての疑問や不明な点は、前記お問合せ先にお問合せください。

【提出書類A】

課 程 名	<input type="checkbox"/> ファーストレベル
	<input type="checkbox"/> セカンドレベル
*事務局記載欄	受付番号

「認定看護管理者教育課程セカンドレベル」研修申込書

ふりがな	実務経験年数 年 月
氏 名	

1 所属組織

ふりがな
施 設 名
施設住所 〒 — 都 道 府 県
TEL () — FAX () —
所属組織(施設)の看護職員総数 () 名

2 職位、所属部署、職種

職位 (※施設での名称をご記入ください。)	所属部署	職種 <input type="checkbox"/> 保健師 <input type="checkbox"/> 助産師 <input type="checkbox"/> 看護師
-----------------------	------	--

3 書類の受取り・連絡先(書類受け取りおよび連絡先を自宅に希望される方のみご記載ください。)

自宅住所 〒 —
TEL () — FAX () —

※ 氏名は、「修了証書」作成時に必要となります。正確に記入してください。

実務(勤務)年数は、令和6年6月1日現在で記入してください。

※本研修申込書は、下記<個人情報の取り扱い>に同意したものととして管理いたします。

<個人情報の取扱い>

応募にあたって提出された個人情報は、「公益社団法人岐阜県看護協会個人情報保護規程」に基づき、個人情報の取得・利用を適切に行います。研修申し込みの際に得た情報は、研修会申し込みに伴う書類発送、学習ニーズや研修評価に伴う調査依頼、案内文書などの送付に用い、この利用目的の範囲を超えて個人情報を取り扱うことはいたしません。もし、この範囲を超える場合には、本人の同意を得た上で取り扱います。

(様式 1)

勤務証明書

氏 名

生年月日 年 月 日生

1 在職期間

保健師・助産師・看護師の実務経験年数を記載してください。

上記の者は当施設において、以下のとおり勤務していることを証明します。

_____ 年 _____ 月 から _____ 年 _____ 月 まで

計 _____ 年 _____ 月間 勤務

2 職位(セカンドレベル受講要件対象者、看護部長・副看護部長相当の職位の証明)

上記の者は当施設において、以下のとおり勤務していることを証明します。

_____ 年 _____ 月 から _____ 年 _____ 月 まで

(職位) _____ として 勤務

岐阜県看護協会長 殿

令和 年 月 日

施設名

施設所在地

施設長名

印

(様式 2)

課題「看護管理者として取り組むべき自部署の課題」

サブテーマ(_____)

A4用紙 1,000字以上1,200字以内 パソコン (フォントMS明朝 10,5ポイント)

施設名 _____ 氏名 _____

課 程 名	<input type="checkbox"/> ファーストレベル	
	<input checked="" type="checkbox"/> セカンドレベル	
*事務局記載欄	受付番号	

(○○字数)